

2021年度

JPI催しのご案内

医薬品包装セミナー (オンライン配信)

—コロナ禍における医薬品包装に求められるもの—

【医薬品包装セミナーの参加申し込み方法について】

JPI ホームページ (URL : <https://www.jpi.or.jp/>) より
参加登録をお願いします。

Zoom を利用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

日時

令和4年3月11日(金)

主催

公益社団法人日本包装技術協会

プログラム Program

時間	講演内容	講師
13:00 ▼ 14:10	<p>◆「カナエが取り組んでいる環境負荷低減包装」</p> <p>海洋プラスチックごみ問題やSDGsの観点から持続可能な社会を実現するために、欧州をはじめ、日本においてもプラスチックの使用量を減らしたり、リサイクルへの取り組みが始まっている。医薬品包装の第一の機能としては、品質を長期間維持したまま患者様に届ける事であるが、医薬品包装であっても世界的な環境負荷低減ニーズから、地球環境に優しいものへの変換が始まっている。</p> <p>プラスチックは性能的に優れており、現在主流の原油由来のプラスチックの代替品として植物由来成分を用いたバイオマスプラスチックや、使用後のプラスチックを回収・(分解)・再生したりサイクルプラスチックが生産されている。また、バリア性などは低下するが、プラスチック代替成分を使用してプラスチックの使用量を削減する製品も出てきており、これらを使用した製品事例を紹介する。</p>	株式会社カナエ 包装技術開発センター 包装技術グループマネージャー 廣島 真一 氏
14:20 ▼ 15:30	<p>◆「超低温保管と輸送について」</p> <p>従来の低分子医薬品中心のラインナップから、バイオ医薬品をはじめとした高分子製品の取扱いのケースが増加し、COVID-19用ワクチンに代表されるディープフローズンでの管理が必要な製品、液体窒素気相下(-135℃以下や-150℃以下等)での管理が必要となる細胞製品等、昨今、物流会社に求められるインフラ、そしてサービスの幅が大きく変化してきている。</p> <p>そのような状況下、弊社では、業界でも初となる超低温専用の物流拠点を2017年8月より川崎市殿町にオープンし、現在、多くの再生医療等(治験)製品の管理やセルバンクを運営している。</p> <p>本講演では、引き続き、増加が見込まれる超低温管理の特徴と課題についてふれ、皆さんの事業機会の創出に少しでもつながることを期待したい。</p>	三菱倉庫株式会社 倉庫事業部 医薬品チーム 佐藤 芳志彦 氏
15:40 ▼ 16:50	<p>◆「添付文書の電子化に伴う医療現場の現状と対応」</p> <p>薬機法改正による添付文書の電子化やバーコードの法制化もあり、より円滑に医薬品情報を入力する仕事の流れを確立する必要がある。</p> <p>そこで今回、病院または保険薬局において医薬品情報検索、持参薬・残薬識別等において、添付文書電子化による薬剤師業務の現状と課題についてまとめた。</p> <p>さらに本講演では、日本製薬団体連合会、医療機器産業連合会、GS1 Japan様が共同で開発した医療従事者用のアプリケーション「添文ナビ」を臨床現場で使用した経験についても報告する。</p>	日本調剤株式会社 医療連携推進部 課長 鈴木 高弘 氏

講師のご紹介

廣島 真一(ヒロシマ シンイチ)氏 株式会社カナエ 包装技術開発センター 包装技術グループ マネージャー

【ご略歴】

2007年 株式会社カナエ入社
包装材料や包装形態の改良・分析を担当後、
開発部に異動。
オリジナル包装形態の開発に従事。
2017年 顧客の困りごとを解決する包装技術グル
ープに異動
2019年 東京支店に異動
2020年 包装技術グループ マネージャー

佐藤 芳志彦(サトウ ヨシヒコ)氏 三菱倉庫株式会社 倉庫事業部 医薬品チーム

【ご略歴】

2001年4月 入社 横浜支店配属
2009年4月 倉庫事業部医薬品チーム配属、治験薬
物流の企画営業担当として従事
2011年 治験薬グループリーダー
2017年 治験薬・再生医療グループリーダー

鈴木 高弘(スズキ タカヒロ)氏 日本調剤株式会社 医療連携推進部 課長

【ご略歴】

1998年3月 東京薬科大学 薬学部 衛生薬学科 卒業
1998年4月～2002年6月
ライオン株式会社 研究開発本部 薬品研究所 入社
一般用医薬品(スマイル点眼薬・ハリックス55貼付剤等)、化粧品雑貨(冷えピタ等)
新製品開発担当
2002年7月～2016年12月
国際医療福祉大学熱海病院 薬剤部(部門責任者)、薬学部実務家教員兼務
ゼロから外来調剤、病棟業務に至る病院薬剤部づくりに従事
管理職を兼務しながら現場リーダーとして活動、個人・施設在宅医療業務も兼務
2017年1月～2022年3月(予定)
日本調剤株式会社 本社 医療連携推進部 課長 入社
へき地を含む約 180 施設の病院へのべ 300 名薬剤師を派遣、地域医療へ貢献
新規事業の開発、保険薬局薬剤師の質向上のための臨床教育 など
2022年4月～(予定)
横浜薬科大学薬学部 臨床薬学科 臨床薬理学教室 准教授 就任見込み

薬剤師、修士(医療福祉経営学(MBA)、国際医療福祉大学大学院)、博士(薬科学、東北大学大学院)、日本医療安全学会代議員、一般社団法人医療安全推進機構(MSPO)日本側議員・国際研究所役員、臨床系の認定専門資格を10種類以上保持中(医療情報技師、感染制御専門薬剤師、NST専門療法士など)

医薬品包装セミナー企画委員

*本催しは各企業から推薦された企画委員によりプログラムを編成しております

溝呂木太郎 委員 全業工業(株) OTC開発部 包装企画課 課長
堤 正一 委員 岡田紙業(株) 営業部 部長
小濱 博信 委員 (株)カナエ 開発本部 本部長付
笠谷 尚弘 委員 ゼリア新薬工業(株) 生産技術部 係長
田代 敏一 委員 第一三共プロファーマ(株) 第三製造部 製造第一課 課長
佐藤 宣男 委員 藤森工業(株) 研究所 ライフサイエンス開発部メディカルソリューション開発グループリーダー
小前 直也 委員 中外製薬(株) 製薬本部 製剤研究部 包装グループ
高森 寛子 委員 大日本印刷(株) 包装事業部 イノベティブ・パッケージングセンター ビジネスデザイン本部 市場開発部 第2グループリーダー

開催要領

日時:令和4年3月11日(金) 13:00～16:50(当日は挨拶・プログラム説明等のため5分前に開始します)

※Zoomを利用したオンラインセミナー形式/申込者に事前登録の手順をメールで連絡します

参加費:

1名分参加費 (配布資料代含む)	会員	会員 (3名割引1名あたり)	一般
本体	13,000円	11,000円	20,000円
消費税10%	1,300円	1,100円	2,000円
税込合計	14,300円	12,100円	22,000円

定員:100名

参加申込方法及び注意事項

【参加申込方法】

- ・本催しは「Zoomウェビナー」を利用してのオンライン配信となります。
お申し込みは当会ホームページの医薬品包装セミナー参加申込ページよりご登録下さい。
当会ホームページURL: <https://www.jpi.or.jp/>
- ・参加申込者には**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- ・申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

【注意事項】

- ①「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- ③本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- ④申し込みの際**メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ⑤開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

お問い合わせ先: 公益社団法人日本包装技術協会 医薬品包装セミナー係 担当:竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「2021年度医薬品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。